

# フクビ防水部材「ウェザータイトサッシ用」

## 施工説明書

施工動画はこちらからご覧ください。



このたびは、フクビ製品「ウェザータイトサッシ用」をお買い上げくださりまして有難うございました。下記の施工説明をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

湿式外装材（モルタル塗り工法）で使用する場合はこちらをご覧ください。

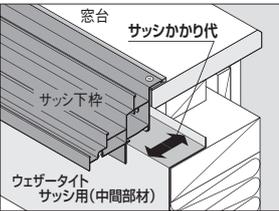


### ■設計・施工時の注意

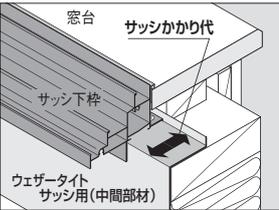
- 下記対応サッシかかり代に合った製品をご使用ください。
- ウェザータイトを施工する際にタッカーは使用しないでください。
- 出窓・天窓には使用できません。
- 施工に使用する防水テープはフクビ防水テープ（アクリル気密防水テープ、ハイブリッド防水テープ、スーパーチルテープN）のいずれかを使用してください。
- サッシ取り付けビスなどでウェザータイトに穴があく場合は、ビス留めする部分に防水テープを貼ってからビス留めするか、ビス留め後に上から防水テープを貼ってください。

### ■対応サッシかかり代(寸法)

#### ●開口枠納まり・アングル付き



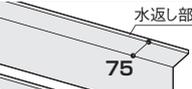
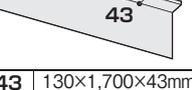
#### ●開口枠納まり・アングルなし

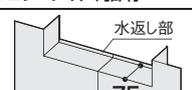
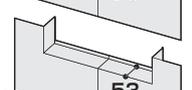
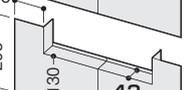


### ウェザータイトサッシ用 中間部材・角部材かかり代

寸法	43	～43mmまで
	53	～53mmまで
	75	～75mmまで

### ■部材の名称

呼称	ウェザータイト 中間部材	
形状		水返し部 75
		53
		43
寸法	43	130×1,700×43mm
	53	130×1,700×53mm
	75	130×1,700×75mm

呼称	ウェザータイト 角部材	
形状		水返し部 75
		53
		43
寸法	43	205×460×43mm
	53	205×460×53mm
	75	205×460×75mm

### ■腰窓への施工手順

#### ①「ウェザータイト」(中間部材)の施工

- 開口部の内寸法に合わせてウェザータイト中間部材の長さをカットします。
- 開口部下地に巾50mm以上の両面防水テープを貼ります。
- 両面防水テープの剥離紙をはがして、カットした中間部材を固定します。

#### ②「ウェザータイト」(角部材)の施工

- ウェザータイトサッシ用角部材の中央部の溝に沿って、手で2つに裂きます。
- 裂いた側の端部(右上図の斜線部)裏面に巾50mmの両面防水テープを貼ります。
- 開口の角部に合わせ、両面防水テープの剥離紙をはがして、中間部材の上に固定します。

#### ③サッシ枠(腰窓)の施工

- サッシ枠を開口部にはめ込みます。

**⚠ 注意** ●ウェザータイトが傷つかないようにご注意ください。

#### ④サッシ枠廻り(サッシ釘打ちフィン)の両面防水テープ施工

- 縦側サッシ釘打ちフィン(左右)に両面防水テープ①を貼ります。
- その後、上部のフィンに両面防水テープ②を貼ります。
- ※下部③は水抜き用に両面防水テープは貼らないでください。

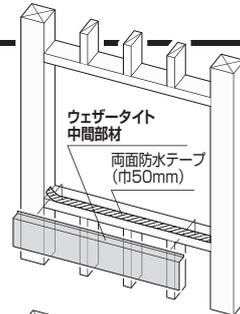
#### ⑤透湿防水シート(サッシ枠下部)の施工

- サッシ枠下側のウェザータイト裏面に透湿防水シートを差し込みます。
- ※ウェザータイトと透湿防水シートの重ね代は90mm以上確保してください。

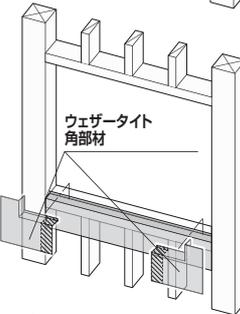
#### ⑥透湿防水シートの施工

- サッシ廻りの透湿防水シートを施工します。
- 両面防水テープの剥離紙をはがし、透湿防水シートをシワができないようによく圧着します。

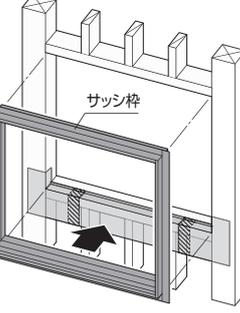
図①



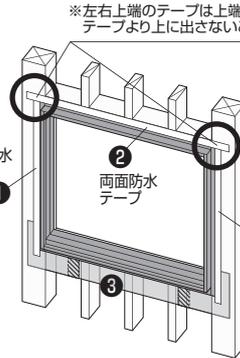
図②



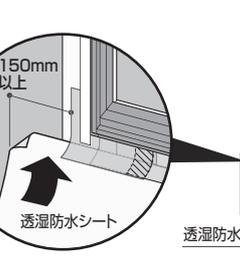
図③



図④

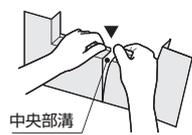


図⑤

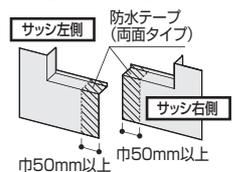


### 角部材の加工

- 角部材の中央部の溝に沿って、手で2つに裂きます。



- 裏面(斜線部)に巾50mmの両面防水テープを貼ります。

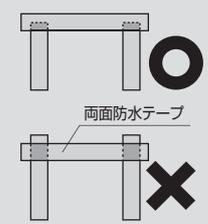


### ⚠ 注意 施工上の注意

- 水返し部が必ず窓台の上にくる向きで施工してください。

### ⚠ 注意 施工上の注意

- 両面防水テープは、上端がはみ出さないよう注意してください。



- 両面防水テープはローラーなどを使用してしっかり圧着してください。圧着が不十分ですと、その部分から漏水する恐れがあります。

図⑥

重ね代 巾90mm以上

## ■掃出し窓への施工手順

### ①「ウェザータイト」(中間部材)の施工

**準備1.** 土台と土台水切りの境目に巾50mm以上の両面防水テープを、開口部の両端から130mm以上長めに目貼りします。

**準備2.** 開口部の内寸法に合わせてウェザータイト中間部材の長さをカットします。ウェザータイト中間部材の下端が土台水切り傾斜部に干渉する場合は、干渉する部分をカットします。(右図参照)

- 開口部下地に巾50mm以上の両面防水テープを貼ります。
- 開口部下地の両面防水テープの剥離紙をはがして、ウェザータイト中間部材を固定します。
- 土台と水切りに目貼りした両面防水テープの剥離紙をはがして、ウェザータイト中間部材とよく圧着させます。

### ②「ウェザータイト」(角部材)の施工

- ウェザータイトサッシ用角部材の中央部の溝に沿って、手で2つに裂きます。(中間部材同様、ウェザータイトの下端が土台水切り傾斜部に干渉する場合は、カットします。)
- 裂いた側の端部(右図の斜線部)裏面に巾50mmの両面防水テープを貼ります。
- 開口の角部に合わせ、両面防水テープの剥離紙をはがして、中間部材の上に固定します。

### ③サッシ枠(掃出し窓)の施工

**⚠ 注意** ●ウェザータイトが傷つかないようにご注意ください。

- サッシ枠を開口部にはめ込みます。

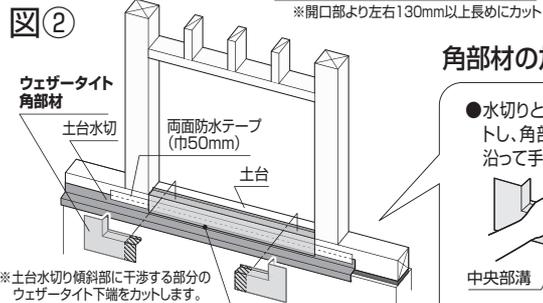
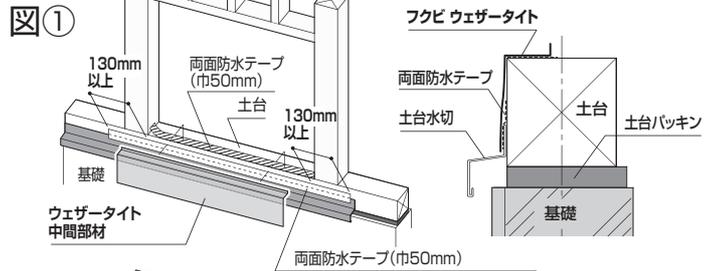
### ④サッシ枠廻り(サッシ釘打ちフィン)の両面防水テープ施工

- 縦側サッシ釘打ちフィン(左右)に両面防水テープ①を貼ります。
- その後、上部のフィンに両面防水テープ②を貼ります。

### ⑤透湿防水シートの施工

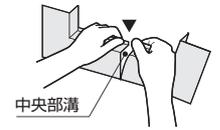
- サッシ廻りの透湿防水シートを施工します。
- 両面防水テープの剥離紙をはがし、透湿防水シートを①②の順で貼り、シワができないようによく圧着します。

**⚠ 注意** ●サッシ下部には透湿防水シートを施工しません。

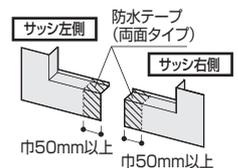


#### 角部材の加工

- 水切りと干渉する部分はカットし、角部材の中央部の溝に沿って手で2つに裂きます。



- 裏面(斜線部)に巾50mmの両面防水テープを貼ります。

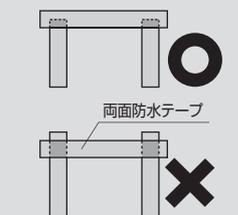


#### ⚠ 注意 施工上の注意

- 水返し部が必ず窓台の上にくる向きで施工してください。

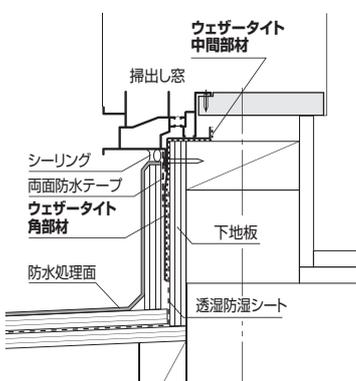
#### ⚠ 注意 施工上の注意

- 両面防水テープは、上端がはみ出さないよう注意してください。



- 両面防水テープはローラーなどを使用してしっかり圧着してください。圧着が不十分ですと、その部分から漏水する恐れがあります。

## ■バルコニー一部サッシ(掃出し窓)の場合



#### ⚠ 注意

- 防水層を直接サッシ枠に重ねる場合は、ウェザータイトは使用しません。



- バルコニー部のサッシの場合、サッシ取付けに対してバルコニー防水工事が「先施工」になる場合は、ウェザータイトは使用しません。
- バルコニー防水工事が「後施工」になる場合は、左図の納まりを参考に施工してください。



本社/福井市三十八社町33-66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585

<https://www.fukuvi.co.jp>

ET047 2021.5 ①